

77	願成寺	武田信義の墓と伝わる五輪塔(市指定文化財)がある
78	武田八幡神社	武田信義の墓と伝わる五輪塔(市指定文化財)がある
79	為朝神社	本殿(国の重要文化財)などがある武田氏ゆかりの神社
80	白山城跡	武田信義が源為朝を祀った神社
81	大輪寺	武田信義の要害(国指定史跡)
82	八幡神社(甘利八幡)	武川衆の一門の甘利氏の菩提寺であり、以前は館が建っていた
83	扇子平(おうぎたいら)城跡	武川衆の一門である甘利氏ゆかりの神社
84	南宮大神社	武川衆の一門である甘利氏の要害
85	八幡諏訪神社	武川衆ゆかりの神社
86	諏訪大神社(穂坂惣社)	享禄七年に武田信虎が本陣を置いた神社
87	光照寺	信玄が修理したときの棟札(市指定文化財)がある
88	諏訪神社	戦国時代の戦火をまぬがれた薬師堂(国の重要文化財)がある
89	平見城(ひらみじょう)の烽火台跡	信玄の偉業をしのいだ武田不動尊が祀られた神社
90	福沢の烽火台跡	天正壬午の乱の時に御岳衆が守った烽火台
91	天澤(てんたく)寺	蚕影(こかげ)山の平場が烽火台と伝わる
92	飯田河原合戦供養板碑	飯富(おぶ)氏の菩提寺、県指定文化財の六地藏石幢がある
93	慈照寺	武田信虎が今川氏と戦い大勝した戦場の跡
94	信玄堤	武田氏の一族の諸角昌清によって建てられたとされる寺
95	旧竜王河原宿石橋	武田信玄が造ったという伝承が残る堤防跡
96	本妙寺	戦国時代に架けられた竜王河原宿(市指定文化財)の石橋
97	篠原塁址	飯富氏の家臣である三井氏の菩提寺とされる
98	榎俣遺跡	飯富氏の家臣である三井氏の館跡とされる場所
99	飯富(おぶ)氏屋敷跡	中世の五輪塔が見つかった遺跡
100	八幡神社	飯富氏の屋敷跡
101	御岳の城山跡	地域の由緒ある神社で、躑躅ヶ崎に勧請された
102	猪狩(いかり)の城山跡	御岳衆の烽火台の一つ
103	川窪の城山跡	御岳衆の烽火台の一つ
104	平瀬の烽火台跡	甲府防衛の一環の物見台
105	太良(たら)峠烽火台跡	甲府防衛の一環の物見台
106	要雲山	甲府防衛の一環の物見台
107	積翠寺	武田氏館跡の要害(国指定史跡)
108	一の森烽火台	武田信虎の妻大井夫人が信玄出産の時に使った産湯の井戸がある
109	長宝寺	甲府防衛の一環の烽火台
110	宝積寺	武田義信や駒井氏の屋敷が付近にあったとされる
111	鐘推堂(かねおしどう)山物見	武田氏家臣駒井高白斎(こうはくさい)の息子昌直の墓がある
112	恵運院	甲府防衛の一環の物見台
113	不動が崎物見	甲府防衛の一環の物見台
114	武田竜芳供養塔(聖道墓)	武田信虎の祖父である武田信昌の菩提寺
115	小松山烽火台	甲府防衛の一環の物見台
116	和田の城山跡	武田信玄の次男である武田竜芳の墓と伝わる
117	法泉寺山の烽火台跡	甲府防衛の一環の烽火台
118	湯村山城跡	甲府防衛のために築かれた烽火台
119	松元寺	甲府防衛のために築かれた城(市指定史跡)
120	関屋	甲府防衛のために築かれた城(市指定史跡)
121	法泉寺	武田氏家臣で湯村温泉郷を開発した大野主水が建てた寺
122	万寿森古墳	佐久往還や穂坂路の通り沿いで甲府への入り口にあたる場所
123	古八幡神社	武田信武と武田勝頼の墓(ともに市指定史跡)がある
124	甲斐惣社八幡宮	武田氏や徳川氏の火薬庫として使われた古墳(県指定史跡)
125	武田氏館跡	武田信光が石和に建て、武田信虎が武田氏館跡付近に移し、武田氏
126	躑躅ヶ崎(つじがさき)遊亭跡	が代々崇めた。その後、甲府城築城に伴い現在地へ移された
127	円光院	当時、躑躅ヶ崎館と呼ばれた武田氏三代の居館(国指定史跡)
128	武田信玄火葬塚	武田信玄が風景を楽しむための東屋が建てられていた場所
129	河尻塚	武田信玄の妻の三条夫人の墓(県指定史跡)がある寺
130	茶道(ちゃどう)峠の烽火台跡	武田信玄の死後、遺体を3年間隠すため最初に置かれた場所
		武田氏滅亡後領主である河尻秀隆の墓(市指定史跡)がある
		甲府防衛の一環の物見台



円光院

⑬ 甲府城跡



甲府城跡

⑭ 甲斐善光寺



甲斐善光寺

⑮ 勝山城跡



勝山城跡

元は武田信守が父信重の菩提寺とした寺で、信玄が現在の地に
し、信玄の妻である三条夫人の菩提寺とした。裏手には三条夫人
の墓が残っている。寺には信玄が陣中の守り本尊としていた木造入
毘沙門天及び勝軍地藏坐像(県指定文化財)が納められている。

武田氏滅亡後に徳川氏または豊臣氏により築城された。城の範囲
現在整備されている範囲よりも広く、県庁やJR甲府駅までその
囲になる。山梨県内唯一の惣石垣として、天守台や本丸などに築
時の石垣がよく残っており、自然面の石材を野面積みの技法で積
上げた貴重な築城期の石垣であることから、国の史跡に指定さ
た。周囲には城下町が造られ、現在の甲府市街の原型となった。

永禄元(1558)年、信玄が川中島の戦いの時に信濃善光寺が焼
るのを恐れて、この場所に善光寺を建て、如来座像を祀った。現在
堂(重要文化財[建造物])は東日本でも有数の規模で、銅造阿弥陀
来及両脇待立像三軀(重要文化財[彫刻])が本尊として崇められ
る。この寺には一時甲斐国を治めた加藤光泰の墓(甲府市指定史
もある。

武田信虎の叔父、油川信惠の城とされている。その後、駿河の今川
が侵攻した際に2度、さらに天正壬午の乱の時に徳川家康の家臣
部半蔵(正成)がこの城に陣を張っている。頂上の主郭を中心に三
の曲輪が造成され、その下部に帯曲輪がめぐる。

	名称	所在地	
131	御崎神社	甲府市美咲 2-10-34	武田信虎により笛吹市から移
132	梅屋敷天満宮	甲府市天神町 14	元上杉氏家臣で武田氏家臣
133	大泉寺	甲府市古府中町 5015	武田信虎の墓(県指定史跡)
134	妙遠(みょうおん)寺	甲府市元細屋町 83	山梨県景が開いたとされる
135	愛宕神社	甲府市愛宕町 134	武田氏館跡を守護する神社
136	能成(のうじょう)寺	甲府市東光寺町 2153	元は笛吹市にあった武田信
137	甲府城跡	甲府市丸の内 1-6-1	徳川氏と豊臣氏により築が
138	長禅寺	甲府市愛宕町 208	武田信虎の妻大井夫人の墓
139	来迎(らいごう)寺	甲府市東光寺 1丁目 3-38	武田信玄が北条氏に援軍を
140	尊躰(そんたい)寺	甲府市城東 1-13-1	徳川氏家臣で内政で権勢を
141	教安(きょうあん)寺	甲府市城東 2丁目 8-4	徳川家康の八男仙千代の菩
142	信立(しんりゅう)寺	甲府市若松町 6-8	武田信虎が病気の回復を祈
143	一蓮(いちれん)寺	甲府市太田町 5-16	元は甲府城の場所に一糸忠
144	遠光(おんこう)寺	甲府市伊勢 2丁目 2-3	甲斐源氏の加賀美遠光が建
145	東光寺	甲府市東光寺 3-7-37	武田義信や諏訪頼重の墓が